

福岡大学筑紫病院様



『注射薬ピックアップマシンが必須ではなく、
中小病院においても導入可能なシステムである点』
これはぜひ強調したいところですね。

薬剤部長 神村 英利先生

(2014年10月現在)



福岡大学筑紫病院(福岡県筑紫野市 310床) 薬剤部様は、
2013年5月に新病院への移転の際に注射薬払出システム(AADS)を導入頂き、
それまでの運用を大きく改新された。
今回はその理由、経緯などについて薬剤部長の神村英利先生にお話を伺った。

もくじ

1. きっかけ
2. AADSの活用で見たこと
3. 以前の状況と導入の経緯
4. 薬剤師のメリットは、看護師のメリット。そして患者様のメリットへ
5. 最後に

きっかけ

ー それでは、今日はよろしくお願ひします。

はい、よろしくお願ひします。

ー ではさっそく始めの質問ですが、どんなきっかけで「AADS」に興味を持たれましたか？

平成20年の秋頃に当時の看護部長から、福岡大学病院で注射薬払出システムの導入について検討していた経緯を聞いておりました…。その時に初めて知りました。

福岡大学病院では当時導入には至らなかった訳ですが、非常に良いシステムとの推薦を頂いておりました。それがきっかけですね。

AADSの活用で見たこと

ー 現在の「AADS」の活用方法について教えて下さい。

主には注射薬のピックアップと鑑査に使用しています。また、返品率や混注率等の各種統計データを出して頂けるので、それを持って医師のカンファレンスに行く事で正しい処方されるようになりました。そういった業務改善や職員の教育にも利用できますね。

ー 実際に活用頂いている中での良かった所、悪かった所をそれぞれ3つ、あれば教えて頂けないでしょうか。

悪い所は、ずいぶん時間をかけて考えましたが、2つしか思い浮かびませんでした(笑)

ー (笑)ありがとうございます。恐縮です。

しいて挙げるなら「医師が投与時間帯をオーダしない場合は、混合業務を行えない点」ですね。だからこそ医師の教育や看護師のフォローが必要になります。あとは、AADSに限った話では無いんですけど、システムの変更時、新システムが定着するまでは教育に多大な時間がかかるのは仕方ないですね。

ー 医師、看護師、薬剤師、病院全体の改新になると、どうしても大仕事になりますよね。

そうですね。しかしその労力に見合うだけのメリットが得られますからね。

それで、良い所ですが

「注射薬ピックアップマシンが必須ではなく、中小病院においても導入可能なシステムである点」これはぜひ強調したいところですね。

よく注射のピックアップというと「ピックアップマシンが無いと…」という話がどうしてもありますが、**AADSを使ったら、(補助員が集めるので)ピックアップマシンは必ずしも必要ではないし、中小病院においてピックアップマシンが本当に必要かと考えると、そうでもないですし。**高額なものですからね。

次に**「投与直前の払い出しが可能であるため、返品処理業務が軽減され、廃棄量が減る点」**です。経済的にも、導入のメリットが大きいですね。



それから「調剤補助員等の無資格者でもピッキングが可能なシステム」であること。
鑑査はバーコードを読ませますから、誰が取り揃えをしても間違えないからですね。
薬剤師は鑑査業務に専念できます。

ー もともと二重(2人)鑑査をされていましたが、導入後は1人鑑査で運用されていますね。

AADSと薬剤師の二重鑑査ですね。

現場の薬剤師からも注射薬の取り間違いによる払出ミスが無くなったと聞いております。
あとは、鑑査時間と鑑査者、血液製剤のロット番号等が登録される機能は、リスク管理の面で大変助かっています。
削除になった処方箋が鑑査中タイムリーに把握できるのも良いですね。

以前の状況と導入の経緯

ー 導入前のAADSの第一印象はどのようなものでしたか？

非常に便利なシステムという印象です。

「薬剤部が院内の全ての注射薬混合業務を実施することができるシステム」で、
「看護部から薬剤部への注射薬混合業務の移管を可能にするシステム」で。

ー AADS導入前は、看護師様が注射薬の混合業務をされていたのですね。

この当時は中心静脈栄養輸液だけを薬剤部で混合して、それ以外は看護師さんが混合してたんです。
無菌なんてとんでもない話で、病棟の“その辺”で混ぜていました。

ー 無菌設備のある薬剤部で混合する方が、患者様にとっても安全ですよ。

そうですね。

ー では、次に「導入する時」についての質問です。AADSを導入する時に他の商品と比較されましたか？

他社のオーダリングシステムやピッキングシステムについては、いくつか資料を取り寄せて調べたり、
実際に導入している病院へ見学へ行ったりもしましたね。
AADSとはそれぞれの商品は趣旨が違うので、あくまで類似品としての比較ですが。

ー 様々な商品と検討された結果、弊社のAADSを選んで頂いたのですね…ありがとうございます。

いえいえ(笑)

薬剤師のメリットは、看護師のメリット。そして患者様のメリットへ



ー 最終的に、どのような理由で選んで頂いたのですか？

まず「院内の全ての注射薬を薬剤師が無菌的に混合し、患者に提供できるようになる点」ですね。

今までは中心静脈栄養輸液以外は“無菌”調製が出来てませんでしたから…。
AADSと無菌室が揃う事によって、薬剤部で取り揃えから混合まで出来るようになりました。

薬剤師が混合する一番大きなメリットは、無菌的に患者さんに注射薬を提供出来るという点で、それが実現可能なシステムであった所ですね。

ー このような言い方は良くないかもしれませんが、薬剤部としての「価値」や「評価」の向上にも…

はい、そうです。そういうところも大きいですね。

薬剤部で全部混合する事になれば、看護師さんは行わずに済みますから、看護師本来の業務の充実化が図れます。

当時の看護部長が推薦したのもこの点なんです。

「混合をやってもらえませんか？そしたら私たちは本来の看護業務に専念できるので」と。

ー そうだったのですね。看護業務は直接患者様に関わる所が大きいですからね。

あとは「**返品率の低下**」ですね。

混合する直前に処方箋を出して準備を始めますから、返品率がかなり減るだろうと。

そうすると薬剤業務も効率化される。

返品処理にも結構時間がかかりますからね。

ー 導入前の返品状況と比べると、返品率の減少が数字※としても出てますね。

ええ、そうですね。 ※導入前=平均 15% 導入後(混合対象薬剤)=2.8% (2014年9月の調査による)

最後に

ー それでは最後に、弊社への今後の期待や要望をお願いします。

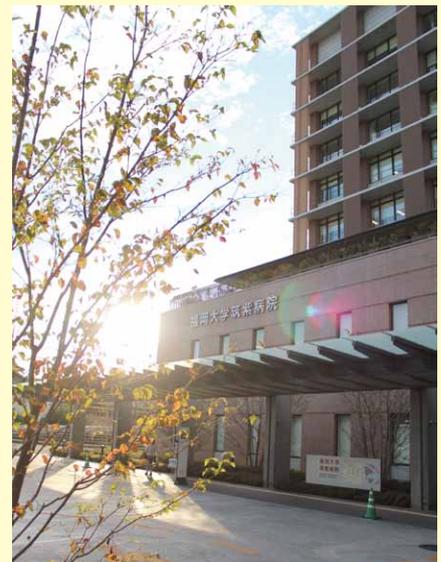
御社は医療現場のニーズを把握し、斬新な発想で新しい機種やシステムを開発されていますが、開発しっぱなしでは無く、さらに改良を重ねて低価格化をめざしておられている。

これは、非常に高く評価しております。

今後も医療現場のニーズにあったものを、可能な限り低価格で提供していただければ、導入される病院も増えていくと思います。

ー 本日はお忙しい中、ありがとうございました。

どういたしまして。ありがとうございました。



FAX. 092-575-2688

☑ メールアドレス: designer@solve-design.co.jp

Concept © Work
SOLVE
株式会社 ソルブ

〒816-0863
福岡県春日市須玖南4-11
TEL 092-575-0556
FAX 092-575-2688

記入欄 詳細資料をご希望の場合は、ご記入後本紙をFAXにてお送り下さい。

お名前 _____ 病院名 _____

住所 _____

部署名 _____ TEL () _____ FAX () _____

メールアドレス _____